

「肉が食べたい」

牧師 小林尚明

信仰の克己修練の大齋節に、「肉が食べたい」とは、どういうことでしょうか。聖書の中には、「肉が食べたい」と不平を言ったイスラエルの人たちのことが、出エジプト記16章に記されています。

3月11日（金）東日本を襲った大地震で、仙台にいる友人・影山博美司祭（仙台聖フランシス教会）と連絡がとれず心配していた。二日してやっと携帯メールが届き、無事がわかり電話で様子を聞くと大変だ、とのこと。それから少しして「何が必要なのか」と尋ねると「ガソリン、生活用品、などなど」。最後に彼が言ったのが「肉が食べたい」という言葉。

16年前、阪神淡路大震災の時、被災した人たちが須磨の教会に身を寄せておられる時、徳島からすき焼き用の肉と野菜、調味料を届けたことがあった。被災者にはお弁当が配られていたが、寒い冬冷たいお弁当は喉を通らない。「すき焼きセットを持って来い」と言われた中村司祭の指示に従って、それらを届け、大変喜ばれた記憶がよみがえった。

そこで救援物資を仙台に届けようと考えたが、カーナビで調べてみると片道約1200キロ。一人では運転は無理と判断し、有田二郎さんに相談すると同行可能とのこと。出発日を相談し3月29日（火）に決め、メール報で、教会の皆さんに救援物資の献品をお願いした。すると続々物資が持ち込まれ、28日（月）の夜には、山のような段ボール箱に野菜、お米を木村先生が届けて下さった。献品くださった皆様一人一人に感謝しています。

28日（月）夜、墓苑組合の例会が、教会であり、有田さんも出席しておられたが、終わったら行こう、ということで、夜9時に広島を出発した。

山陽自動車道、中国縦貫、名神、東名に入り、富士山のふもと「足柄」パーキングで二時間ほど仮眠をとり、首都高速、東北自動車道を北上し、仙台についたのは、昼を少し過ぎた頃だった。途中で影山司祭に電話すると「信徒さんが亡くなって、1時から納棺式、しかし、家内がいる」とのことだったが、聖フランシス教会についた時には、司祭もいてしばらく話をする事ができた。すき焼きセット、ガソリンなどを降ろし、次回の管区正義と平和委員会・憲法プロジェクト委員会（影山司祭も委員）での再会を約束し、大半の救援物資を仙台の大聖堂に届け、長居は迷惑とそうそうに帰路につき、宇都宮で一泊し、広島には30日（水）夕方着いた。

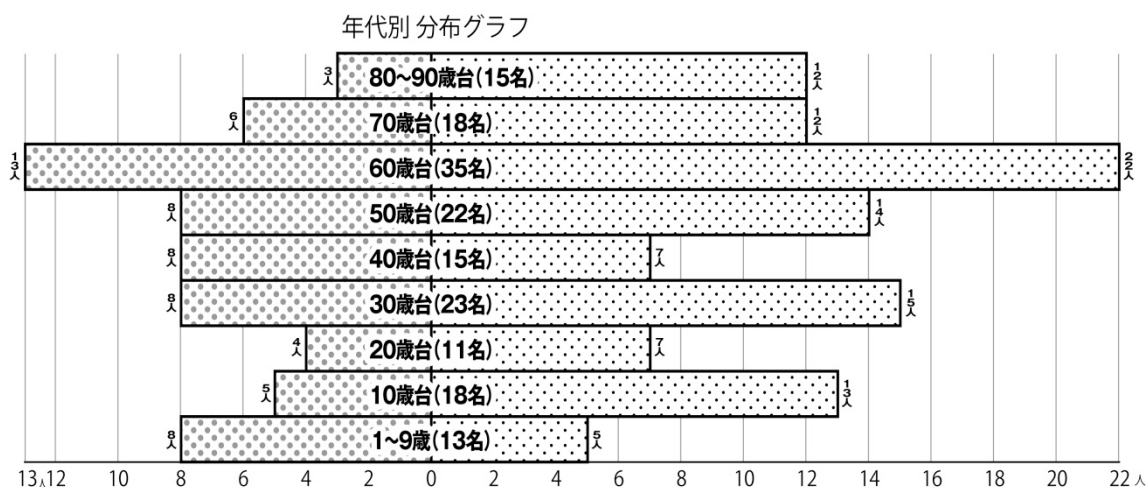
後日、お肉のお礼を電話で頂いたが、31日葬儀をした信徒の方の火葬は、一週間待ちとのこと。火葬を急ぐのであれば、山形まで行かなければならない状態とのこと。祈らなければならない、と思った3日間だった。



影山司祭と奥様、撮影：有田二郎さん

「広島復活教会の年齢構成から見えること」

マリア有田和子



現在広島復活教会の信徒数は157名です。

婦人会では、毎主日にうどんを提供しています。このための原料であるうどん玉は、毎回45個を仕入れています。40玉で足りるようになっていきます。礼拝者が徐々に減ってきていることを実感します。礼拝席も空席が目立つようになってきました。これを自然な流れとしてとらえてもよいのでしょうか。これに対応した対策が必要な時期が来ているように思います。そこで、広島復活教会の信徒数を10年刻みの年代構成表にしてみました。これから読み取れることを以下に列記してみました。

1. 現在と10年後では、年代構成に変化はないと思われる。
2. 20年後は100名以下になりそうです。
3. 年代別に見ると礼拝の参加できる信徒等については、努力次第では増加する余地があるように思われます。
4. 教会委員の選出については、例えば選挙人名簿を各年代別に整理することで、各年齢層にわた

る幅広い委員構成とすることができると思います。これによって、教会活動の活性化が促進されるとともに、企画運営での効果が期待できると思います。

信徒にとって、教会が祈りの空間であり、平安と癒しにみちていますように。

*お知らせ

- ・ボーイスカウト・バザー
4月29日(土)11:00~14:00 聖モコ幼稚園
- ・エマオツアー(釜山、慶州)
5月21日(土)~23日(月)
- ・野外礼拝 鶴見町「日本福音ルーテル教会」
6月5日(日) *現在調整中
- ・広島平和礼拝2011
8月5日(金)、6日(土)
*説教者に横浜教区主教 三鍋 裕師

教会会計について

ダニエル 西村 功（会計担当）

教会の会計について考えてみたいと思います。教会の会計は、信徒の皆様の献金によって賄われていることはご存知の通りです。その収支がどのようになっているかも、毎年受聖餐者総会の資料で承知されていますが、ちなみに、2011年の総会資料の会計報告を見てください。

結論から申し上げますと、収入の部の基金勘定からの取り崩し額8,273,982円が、通常の献金では不足していたということです。ただし、このうち4,840,000円は建築基金からの取り崩しであり、これを除くと3,433,982円が不足であったことが分ります。この不足額は、最近では定常的に現れるもので、毎年300万円から400万円近い金額が不足していることを示しています。幸いにして、広島復活教会では、過去に蓄えた資産を運用することによって、これを補うことができています。

昨年は、前述したように建築基金からの取り崩しが4,840,000円ありました。この基金は、毎月皆様から建築献金として献げられ蓄積されたものからの支出です。礼拝堂の天井から雨漏りがし、屋上の防水工事を行いました。また教会入口の路面が陥没し、これも補修しました。教会建物も1983年に建築されたもので、30年近く経過しているものであちらこちらに不具合が生じてきます。その必要の都度募金する方法もありますが、平素から少しずつも蓄えておいて、緊急に対応したいと考えています。

3月11日、M9.0という世界最大級の地震が東北・関東を襲いました。10mを超える津波も押し寄せ、死者が1万人を超えると予想されています。勿論建物も多くが津波に流されたり、破損していま

私たちの生活している広島地区では、なに不自由なく過ごしていますが、何時このような事態が発生するか分からないので、常に備えておかなければなりません。

献金の使い方ですが、収穫感謝、大齋克己、大聖堂耐震改修、ギデオンなど目的がはっきりしているものは、原則として献金された額をそのまま送金します。その他の献金、すなわち信施金、月約献金、イースター、クリスマス、夏季感謝、感謝献金などによって、牧師の俸給・手当、福利厚生、教区費分担金、祭壇費、宣教費など教会の活動に必要な費用を賄っています。

私の考えですが、2011年度予算の牧師俸給・手当、福利厚生費の合計約7,700,000円が、月約献金、イースター、クリスマス、夏季感謝献金で、教区費約2,600,000円が、感謝献金で賄うことができれば理想に近づくとおもいます。

現在約70名の方が月約献金をされています。この人数で必要とする7,700,000円を得るには、毎月1人平均約9,200円となります。しかし、広島復活教会の信徒数はもっともっと居られるはずです。献金を献げる人数が更に増えていくことが大切だと思います。教会の信徒の方々も高齢化が進んでいますが、収支の不足を補うため、1人が増額することも必要ですし、献金する人数が増加することも必要なのです。感謝献金は、いろいろな事への感謝を表す献金です。誕生日、受洗記念、受堅信記念、結婚記念、身内の方の逝去記念などなど・・・「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」(テサロニケ5：16～18)このみ言葉を思い起こしてみてください。

では、わたしたちは、いくら献金をすればよいのでしょうか。上述の献金額の数字は単純計算です。人にはそれぞれの事情があります。いくら献げるかは自由です。献金については、十一献金があります。また、マルコ 12 : 41 ~、ルカ 21 : 1 ~の

「やもめの献金」の話もあります。私たちは献金の都度「すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げたのです」と唱えています。教会に繋がる全ての信徒が、その一人ひとりが、感謝を持って献金を献げられるようにと願っています。
在 主

洗礼式を受けて

テレサ 増山恵子

3月6日(日)大斎前主日、当日は聖モニカ、栄光両幼稚園の聖書サークルの皆さんを招待する日で、子どもたちがたくさん集まった聖餐式の中で、私は洗礼式を無事終えることができました。小林司祭様、長田司祭様、名親様、その他の皆様方にあたたかいお言葉をいただき、忘れられない一日を送ることができました。ありがとうございました。心より御礼を申し上げます。



さて、私は今から約2年前、様々なことで苦しんでいた時、広島復活教会に出会い、小林司祭様からのお言葉を聞いて、今までにない心の安らぎをいただきました。その安らぎがきっかけとなって、私の人生が大きく変わり、真実の私に生まれ変わる一歩

を踏み出すことができました。その時のあたたかいお言葉と笑顔は、いつまでも忘れることはできません。感謝でいっぱいです。ありがとうございます。



そのような神様からのたくさんの恵みをいただきながら、なかなか心を開くことができなかった私に、神様は大きな試練を与えながらも、自分自身の原点を見つめる機会を与えてくださり、そのことによって洗礼を受け、神の家族に迎え入れていただくことができました。



まだまだ未熟な私ですが、皆様方どうぞ教えてください。テレサの名前に恥じないよう、一歩ずつ歩むつもりです。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

